



2019年10月29日

各 位

上場会社名 TOWA株式会社  
 代表者 代表取締役社長 岡田 博和  
 (コード番号 6315)  
 問合せ先責任者 執行役員経営企画本部長 柴原 信隆  
 (TEL 075-692-0251)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月13日に公表いたしました2020年3月期第2四半期(累計)期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

## ● 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	400	420	320	12.80
今回修正予想(B)	11,641	△182	△284	△202	△8.08
増減額(B-A)	△2,359	△582	△704	△522	
増減率(%)	△16.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)	15,298	873	954	881	35.26

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	1,600	1,620	1,165	46.58
今回修正予想(B)	25,741	718	616	438	17.51
増減額(B-A)	△4,259	△882	△1,004	△727	
増減率(%)	△14.2	△55.1	△62.0	△62.4	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	28,272	937	939	877	35.09

2020年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,000	80	55	2.20
今回修正予想(B)	9,165	△798	△573	△22.91
増減額(B-A)	△1,835	△878	△628	
増減率(%)	△16.7	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)	13,279	51	38	1.56

2020年3月期通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	680	470	18.79
今回修正予想(B)	21,115	△548	△403	△16.11
増減額(B-A)	△2,885	△1,228	△873	
増減率(%)	△12.0	—	—	
(ご参考)前期実績(2019年3月期)	23,188	△737	△467	△18.71

#### 修正の理由

売上高につきましては、米中貿易戦争を背景とした各社の設備投資への慎重さが続き、半導体市況の本格的な回復が想定より遅れていることから、当初予想を下回る見込みです。

利益につきましては、前第4四半期から継続する原価低減の実施及び固定費の見直しに加え、当社が市場シェアの100%を握る独自技術のコンプレッション装置の売上が増加したことにより、当第2四半期(2019年7～9月期)の利益は当初予想を上回る見込みですが、当第1四半期(2019年4～6月期)の大幅な落ち込みを補うことが出来ず、当第2四半期累計期間の各段階利益は赤字となる見込みです。

下期の利益につきましては、原価低減等の継続や、収益性の高いコンプレッション装置の受注が好調に推移し収益改善が進み、各段階利益の赤字は解消するものの、売上減の影響により当初予想を下回る見込みです。

なお、当期末の配当予想につきましては、2019年5月13日に公表しました内容(1株につき16円)から修正はございません。

※本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上